

式辞

36期新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

今、世界では、新型コロナウイルス感染症が蔓延しており、人類は大きな試練を迎えております。その中であっても、ようこそ東野へ。

新入生の皆さんの東野高等学校への入学を心より歓迎いたします。

さて、今年の関東の桜の開花は、観測史上最も早く本校自慢の桜もすでに葉桜に変わりつつあります。桜が咲くためには5℃前後の低温刺激が花の「休眠解除」として必要だそうです。つまり、低温による刺激を受けた後に気温が上がると桜は早くきれいに咲くようです。温暖化した地域の方が早く咲くと思いきや、低温刺激が十分でないところでは、暖かいところであっても開花は遅れてしまいます。

思いがけない感染症の出現に、中学校の最後を完全燃焼できずに終えてきたと感じている新入生もいることでしょう。そして、新たな高校生活は激動の始まりとなる予感がしている人もいるでしょう。ですが、桜の花のごとく厳しい環境を乗り越えてこそ、その開花はひとしおとなるはずです。私たち教職員は、こんな時だからこそなお一層、君たち新入生の開花に寄り添い未来を拓く、そして休眠解除のための刺激剤となろうと決めました。

では、東野高校の「建学の精神」をもとに、高校生活の基本的な心構えをお話しておきます。

1. 知識は第一の宝
2. 品行は最高の美
3. 忍耐は無上の力

まず

1. 知識は第一の宝 について ……学びましょう。

どんな場面に直面したとしても最後に自らを救うのは、学び・教育だと信じています。発達しすぎたかもしれないネット社会に流されることなく正しい知識を習得するための選択が出来るようになりましょう。

2. 品行は最高の美 について ……そのために、規範意識を高めましょう。

人生の中で最も多感であろう時期を全日制普通科高校で学ぶ意義を感じてください。ダイヤモンドはダイヤモンドによって磨かれるように、人は人によって磨かれるのです。高校というこの場所で集団生活を営むには、個性のぶつかり合いは避けがたく、その中でより良い人間関係をいかに構築していくかが、それぞれの課題となるでしょう。尊い品行は、規範意識の高まりの中からこそかもし出されていくことでしょう。

3. 忍耐は無上の力 について ……主体的に動くための力を蓄えましょう。

苦しいことに堪え、時に理不尽なことも我慢することによって、周りからの協力、そして結果が得られるでしょう。それは勉強でも・部活でも・行事においても大切で、さらに、そのことが主体性を身に付け、さらなる

可能性を、引き出すこととなるはずです。

知識は第一の宝 品行は最高の美 忍耐は無上の力

学びましょう。

規範意識を高めましょう。

主体的に動くための力を蓄えましょう。

これが建学の精神であり、東野高校生徒三原則です。

さて、改めまして、保護者の皆様には、お子様の高校への入学を心よりお喜び申し上げます。私たちは、教育に関わるものとして謙虚に、覚悟を持って、努力していきます。

本学園 盈進学園創始者 丸山鋭雄(まるやまとしお)の言葉を胸に。

その言葉とは

常に子どもと共にあれ

子どもには必ず光るものがある

子どもの可能性を信じよ

子どもには希望を持たせよ

鑄型にはめるものではない、育てるのだ

怒るな

あらんかぎり褒めよ

謙虚であれ

怖れを持て

子どもを買い被るな

子どもを見くびるな

自らの仕事に全身を打ち込め ます。

どうか、保護者の皆様にも、この言葉を心にとめていただき、ご家庭と学校が連携し合いながらお子様の成長を促していけるよう、ぜひともご協力くださいますようお願い申し上げます。

新入生の皆さん、高校生活がスタートします。皆さんには、夢はありますか？ 夢は、実現させなければつまらない。そのためには、しっかりと目を見開いて今を見つめて生きることが大切です。希望を持って報われないのではないかと悲観せず、このあたりでいいと諦めるのではなく、たいていの夢は、努力の継続によって叶います。もちろん、中学校までの思い出にすがっている場合ではありません。グローバル化の波が日本全国を覆い尽くしていますが、何も恐れることはありません。

まずは、この入間の地と世界を結ぶ懸け橋になりましょう、そして、日本との。本校の英語教育に関する、多彩なプログラムを活用し、英語を話し、使いこなし、日本の文化を伝え、外国文化を受け入れ、内向

き志向など克服し、人間の地がグローバル地域として発信していく力となりましょう。
英語が話せれば、運命が変えられる、必ず。

現代は予測不可能な時代とされ、明日何が起こるかわからないと言われています。新型のコロナウイルスが世界に蔓延することなど、半年前には誰も予測しなかったことです。

しかし、過去に予測可能な時代などあったでしょうか。考えてみれば、いつでも、どんな時代でも、未来は予測不可能なのです。

だからこそ、今を悪戯に憂うことなく、予測不可能な時代を生き抜くために必要な能力をここ東野で身に付けましょう。

そして、3年後卒業するときに東野高校で学んでよかったと実感できるように。

36期生の皆さんに、心から期待し式辞といたします。

令和2年4月9日
東野高等学校 校長 北村陽子